

取扱説明書

536LiRX

本機をご使用になる前に、この取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご
確認ください。



Japanese

マークの説明

シンボルの説明:

スウェーデン語取扱説明書(オリジナル)の翻訳

警告! 場合によってはトリマーは危険です。不注意な取り扱いや誤った取り扱いは作業者や周囲の人などに深刻な、時には致命的な傷害を引き起こすことがあります。本取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解することが非常に重要です。本機をご使用になる前に、この取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認ください。

常に下記のものを着用してください。

- 承認されたイヤマフ
- 認可された視覚保護具



出力シャフト最高速度、rpm



この製品はEC規格適合製品です。



本機の作業者は、作業中に人や動物が15メートル以内に近づかないように注意する必要があります。



ソーブレードやグラスブレードが取り付けられている本機は、ブレードが固定物に接触すると、横へ激しくはじき飛ばされることがあります。ブレードに触れると、腕または脚が切断されるおそれがあります。必ず、関係者以外の人や動物から15メートル以上離してください。



常に承認された保護手袋を着用してください。



丈夫で滑らないブーツを着用してください。



製品やパッケージ上のマークは、本製品が家庭ゴミとして取り扱われてはならないことを示します。本製品は適切にリサイクル施設に廃棄しなければなりません。(ヨーロッパにのみ適用)



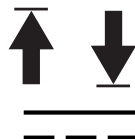
飛び散ったり跳ね返ってくる物体に気を付けてください。



トリマーのヘッドとナイロンコードなど、金属製でない柔軟なカットティングアタッチメントのみを使用してください。



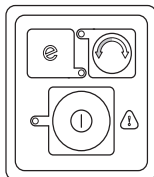
ハンドルの配置のための制限を示す矢印。



直流。

コントロールパネル

- 回転方向
- 電源オン・オフボタン
- SavE モード 本機はバッテリー節約機能 (SavE) を備えています。
- 警告インジケータ



環境に対する騒音レベルは EC 指令に準拠しています。本機の騒音レベルは、主要諸元の章とステッカーに記載されています。



バッテリーとバッテリー充電器のシンボルマーク:

本製品は適切にリサイクル施設に廃棄しなければなりません。(ヨーロッパにのみ適用)



安全装置付き変圧器



バッテリー充電器は室内でのみ使用および保管してください。



二重絶縁



マークの説明

本機に付いている他のシンボル/銘板はそれぞれの市場地域に向けた特別な認定条件を示します。

**取扱説明書に表記されるシンボルマ
ーク:**

本機は電源オン・オフボタンを押すと、始動または停止します。本機が誤って始動しないように、製品を使用しない時はバッテリーを常に取り外してください。

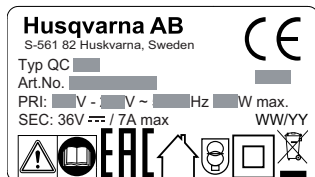
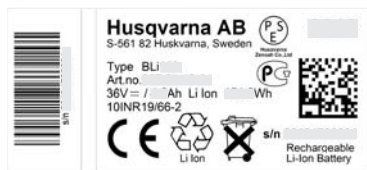
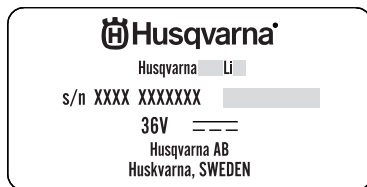
常に承認された保護手袋を着用してください。

定期的な清掃が必要です。

目視点検

バッテリーを外します。重要事項! 本機が誤って始動しないように、製品を使用しない時はバッテリーを常に取り外してください。

芝生用トリマー、バッテリー、バッテリー充電器には以下のラベルが貼ってあります。



目次

目次

マークの説明

シンボルの説明: 2

バッテリーとバッテリー充電器のシンボルマーク:

..... 2

取扱説明書に表記されるシンボルマーク: 3

目次

目次 4

始動時には以下の注意点を守ってください 4

はじめに

お客様へ 5

各部名称

各部分の説明 6

安全な使用について

パワーツールの一般的な安全上の警告 7

使用者の身体保護具 8

バッテリーとバッテリー充電器 9

本機の安全装置 10

カッティング装置 12

組み立て

ハンドルバーの取り付け 14

ガードの組み立て 14

トリマーヘッドの取り外し 14

グラスブレードまたはグラスカッターのアセンブリ 15

ハーネスと刈払機の調整 15

標準のハーネス 15

搬送位置、ハンドルバー 16

バッテリーの取り扱い

バッテリーの状態 17

バッテリー充電器 17

搬送と保管 18

バッテリー、バッテリー充電器および製品の廃棄 18

始動と停止

始動前の点検 19

本機へのバッテリーの接続 19

始動と停止 20

作業技術

一般的な作業方法 21

メンテナンス

点検とメンテナンス 25

トラブルシューティング 26

メンテナンススケジュール 27

主要諸元

主要諸元 28

EC 適合性宣言 29

始動時には以下の注意点を守ってください

操作説明書に注意深く目を通してください。



警告! 長時間騒音にさらされることは、恒久的な聴覚障害の原因になることがあります。本機を使用する際は、イヤマフを必ず着用してください。



警告! いかなる理由であれ、製造者の承認を得ることなく本機的设计に変更を加えないでください。常に純正の部品をお使いください。不認可の設計変更や付属品は、使用者やその他の人の重傷や致命傷の原因となる場合があります。



警告! 不注意な取り扱いや誤った取り扱いは、作者や周囲の人などに、重傷や致命傷を引き起こすことがあります。この取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解することが非常に重要です。

お客様へ

ハスクバーナの製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ハスクバーナの歴史は、スウェーデン王のカール 11 世がハスクバーナ川の岸辺にマスケット銃の製造を目的とした工場の建設を命じた 1689 年に遡ります。その立地は、ハスクバーナ川の水力を動力源とする工場を建設するために適していました。その後、300 年以上に渡り、ハスクバーナ社の工場は薪ストーブから最新のキッチン用品、ミシン、自転車、オートバイに至る製品の数々を生産してきました。1956 年に最初のエンジン式芝刈機が登場し、それが 1959 年のブロワーへと続き、これが現在のハスクバーナの取り扱う製品分野になっています。

今日、ハスクバーナは品質を最優先として、林業や造園業務用機器のメーカーとして世界をリードしています。ハスクバーナは、建築や建設産業の他、農林および造園向けのエンジン駆動製品を開発し、製造販売しています。またハスクバーナは、人間工学、有用性、安全性、さらには環境保護において、業界のトップランナーたることもその使命にあげています。様々な機能を開発しこれらの分野で当社の製品を皆様に提供するのはこの概念が根底にあるからです。

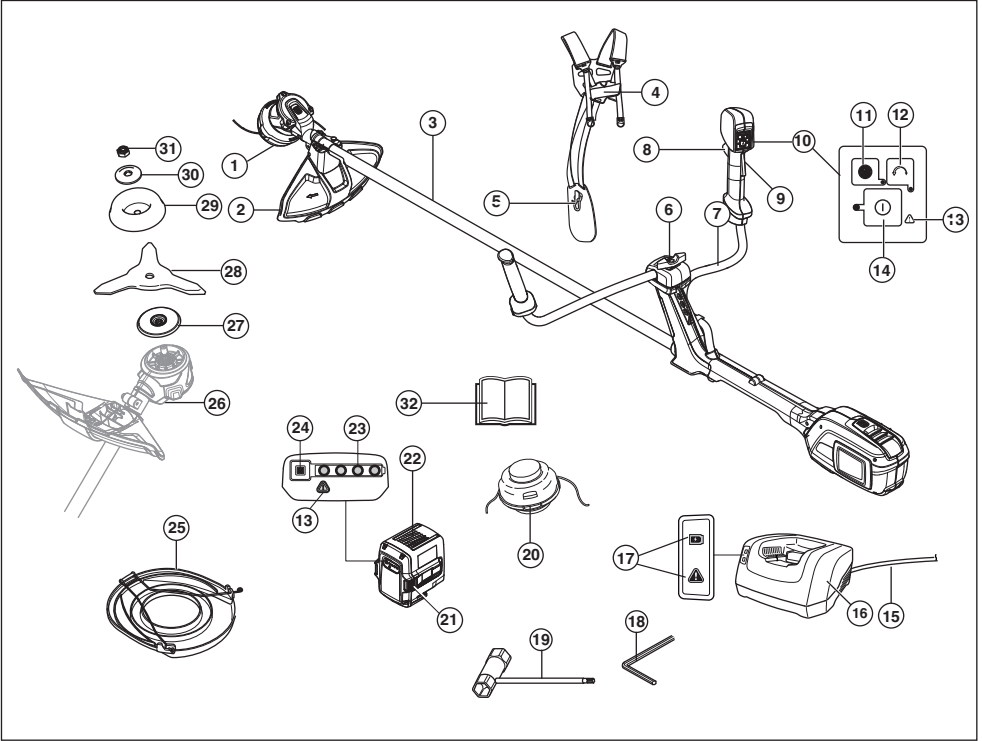
弊社はお客様が弊社の製品の品質および性能にいつまでもご満足いただけることと確信を持っております。弊社の製品をご購入いただくことにより、必要なときにプロの修理および整備をご利用いただけます。お買い上げになった販売店が正規代理店でない場合は、その販売店に最寄りのサービスショップの所在地をお問い合わせください。

本製品にご満足いただき、末永くご愛顧いただけることを願っております。取扱説明書は大切な書類です。説明書の記載内容（使用方法、サービス、メンテナンスなど）に従うことにより、本機の寿命を延ばし、転売時の価値を高く維持することができます。本機を販売する場合、取扱説明書を購入者に必ず渡してください。

ハスクバーナの製品をご購入いただき誠にありがとうございます。お客様に安心して製品をお使いいただくため、製品登録をお願いいたします。製品をお使いいただくために欠かせないサポートサービスや緊急情報の提供は、登録されたお客様のみ対象となります。ご利用の前に必ずご登録ください。

ハスクバーナ社は継続的に製品の開発を行っています。そのため、設計や外見などが予告なく変更されることがあります。

各部名称



各部分の説明

- | | | | |
|----|--------------------|----|-------------------------|
| 1 | トリマーヘッド | 17 | 電源オン／警告インジケータ (エラー LED) |
| 2 | カッティングアタッチメントガード | 18 | 4 mm六角キー |
| 3 | シャフト | 19 | ソケットスパナ |
| 4 | ハーネスのクイックリリース | 20 | トリマーヘッド |
| 5 | ハーネス、ヒップパッド | 21 | バッテリー解放ボタン |
| 6 | ハンドル調整 | 22 | バッテリー |
| 7 | ハンドルレバー | 23 | バッテリーの状態 |
| 8 | パワートリガー | 24 | バッテリーインジケータボタン |
| 9 | パワートリガーロック | 25 | 搬送用カバー |
| 10 | キーパッド | 26 | ロックピンの 4 mm六角キー用の穴 |
| 11 | SavE ボタン | 27 | ドライブディスク |
| 12 | 回転方向ボタン | 28 | ブレード |
| 13 | 警告インジケータ (エラー LED) | 29 | サポートカップ |
| 14 | 電源オン・オフボタン | 30 | サポートフランジ |
| 15 | コード | 31 | ロックナット |
| 16 | バッテリー充電器 | 32 | 取扱説明書 |

安全な使用について

パワーツールの一般的な安全上の警告



警告! 警告および指示はすべて読んでください。 警告や指示に従わない場合、感電、火災、あるいは深刻な傷害を招くことがあります。

重要事項! すべての警告や説明は、以後の参考のために保管してください。

本機をご使用になる前に、この取扱説明書を注意深くお読みいただき、内容を必ずご確認ください。

始動前の点検

- 本機が誤って始動しないように、製品を使用しない時はバッテリーを常に取り外してください。本機のメンテナンスを行う前には、必ずバッテリーを外してください。
- 本機の使用前および何らかの衝撃を受けた後は、磨耗や破損の兆候がないか確認の上、必要があれば修理してください。
- 作業エリアを点検します。石や割れたガラス、くぎ、スチールワイヤー、ひもなど、飛んだりカッターやカッターガードにからまりそうな固定されていないものをすべてとってください。
- 汚れやヒビがないかモーターを点検します。ブラシを使用してエンジンから草や葉を落とします。必要に応じて、手袋を着用してください。
- トリマーヘッドが完全にトリマーに装着されているか確認します。
- 本機が正常に動作することを確認してください。すべてのナットとネジが確実に締められているかどうかを確認します。
- トリマーヘッドとトリマーガードに損傷やひびのないことを確認します。トリマーヘッドやトリマーガードが衝撃を受けたり、ひびが入っている場合は交換します。使用するカッティングアタッチメントに推奨のガードを必ず使用してください。「主要諸元」の章を参照してください。
- 本機の作業者は、作業中に人や動物が 15 メートル以内に近づかないように注意する必要があります。作業場所に複数の作業者がいる場合は、安全のために、最低 15 メートルの距離を取ってください。
- 使用前に本機全体の点検を実施してください。メンテナンスのスケジュールに目を通してください。
- 使用には、国や地方により、規制が課せられる場合があります。指定された規制に従ってください。

個人の安全

- 切断ツールは、本機を停止した後もしくは停止しません。
- 本機はトリミング専用です。
- そばに人がいないようにしてください。

- パワーツールを操作するときは、十分に気をつけて慎重に行動し、常識に従ってください。疲れているときや、医薬品およびアルコールの影響が残っている状態でパワーツールを使用しないでください。パワーツールの操作中は、一瞬の不注意が重大な傷害につながる可能性があります。
- 本機は、正常な体力や感覚、精神力がなかったり、経験や知識のない人(子供を含む)の使用を想定していません。ただし、使用者の安全に責任を持つ人物が本機の使用に関して監督や指導をする場合を除きます。子供が本機で遊ばないように、監視する必要があります。
- 子供や本機またはバッテリーの扱いに不慣れな人に、本機を使用させないようにしてください。居住地の法律によっては、使用者の年齢制限がある場合があります。
- 装置を鍵のかかる場所に保管し、子供や、承認を受けていない人が触れることのないようにしてください。
- 常に切断エリアから手足を離し、特にモーターのスイッチをオンにするときは注意してください。
- **適切な服装を心がけてください。ゆったりした衣服や装身具を身につけないでください。稼働部品に髪の毛や衣服、手袋を近づけないでください。** ゆったりした衣服や装身具、長髪は稼働部品に絡まる恐れがあります。
- 身体保護具を着用してください。「使用者の身体保護具」の項の説明を参照してください。
- 運転で埃をかぶる場合は、必ずフェースマスクや防塵マスクをしてください。
- 本機を移動するときは停止してください。本機を別の手に渡すときは、必ずバッテリーを外してください。
- 保管する場合や搬送する場合は、必ずカバーを使用してください。
- 周囲の人や彼らの財産を様々な事故や危険にさらさないようにする責任は、使用者としてのあなたにあることをしっかりと心にとめてください。

パワーツールの使用と手入れ

- 本製品に使用可能な付属品は、「主要諸元」の章で推奨するカッティングアタッチメントのみです。
- オリジナルの仕様を変更した機械は、それがどのような変更であっても絶対に使用しないでください。爆発物や可燃性物質のそばで本機を使用しないでください。
- 欠陥のある製品は絶対に使用しないでください。この取扱説明書の内容に従って、安全点検、メンテナンス、サービスを行ってください。メンテナンスやサービスの内容によっては、専門家でなければできないものもあります。詳細は、「メンテナンス」を参照してください。
- 純正の交換部品のみを使用してください。
- 空気口に破片などがないように常に注意してください。
- ハンドル部は乾燥させて、オイルや油が付着しないようにきれいな状態を保ってください。
- 始動する前に、すべてのカバーやガード、ハンドルを取り付ける必要があります。

安全な使用について

- 本機は日光や照明が十分な状態でのみ使用してください。
- 無理な体勢で作業しないでください。常に、安定した足場とバランスを保つようにしてください。
- 本機に無理な力を加えないでください。意図された速度で使用した方が、仕事もやりやすくなり、負傷する可能性が低下します。
- 霧や雨、強風、厳寒、雷など気象条件の悪いときや濡れていたり湿気の多い場所では、本機を使用しないでください。また、気温が極めて高いときは、本機がオーバーヒートすることがあります。
- 異常な振動を شدした場合、本機を停止してバッテリーを取り外してください。
- 歩きながら操作し、決して走らないでください。

いつも常識のある取り扱いを

起こり得る状況をすべて予測し、対応することは不可能です。常に注意を払い、常識に合った使用方法で操作してください。使用者の能力範囲外であると思われる場合は、操作を行わないでください。これらの注意事項を読んだ後でも、不明点などがある場合は、使用を続けずに専門コンサルタントにご相談ください。

重要



警告！ 本機は、運転中に電磁場を生成します。この電磁場は、場合によって能動あるいは受動的な医療用インプラントに影響を及ぼすことがあります。深刻なまたは致命傷の危険を避けるため、医療用インプラントを使用している人が本機を操作する前に、主治医およびペースメーカーの製造元に相談することをお奨めします。



警告！ 本機を子供に使用させたり、本機の付近に子供を近づけたりしないでください。本機は簡単に始動できるため、十分に監視していなければ子供が始動することも可能です。重大な身体的傷害を引き起こす危険があります。そのため、本機が十分な監視下にならない場合はバッテリーを外してください。

使用者の身体保護具

重要事項！

不注意な取り扱いや誤った取り扱いは、作業者や周囲の人などに、重傷や致命傷を引き起こすことがあります。この取扱説明書をよくお読みになり、内容を理解することが非常に重要です。

本機を使用するときは、認可のある身体防護具を必ず着用してください。身体防護具で負傷の危険性を排除できるわけではありませんが、万が一事故が起こった場合、負傷の度合いを軽減することができます。身体保護具の選択については、本機の販売店にご相談ください。



警告！ イヤマフを着用している間、警告信号や叫び声に気を付けてください。モーターが停止したら、すぐにイヤマフを外すようにしてください。

警告！ ギアハウジングは高温になることがあるため、やけどする危険性があります。トリマーヘッドを取り扱う場合は、手袋を使用してください。

イヤマフ

騒音を十分に軽減するイヤマフを着用してください。



視覚保護具

常に認可された視覚保護具を着用してください。バイザーを使用する場合、認可された保護ゴーグルも着用する必要があります。認可された保護メガネは、米国の ANSI Z87.1 規格または EU 諸国の EN 166 に適合しなければなりません。



手袋

カッティングアタッチメントを取り付けるときなど、必要なときは手袋を着用してください。



安全な使用について

ブーツ

丈夫で滑らないブーツを着用してください。



服装

丈夫な布でできた服を着用し、小枝や枝が引っかかるようなゆったりした服装は身につけないでください。必ず厚手の長ズボンを着用してください。装身具や半ズボン、サンダルは着用せず、はだしにならないでください。髪の毛は肩より上になるように留めてください。

救急用具

常に救急箱を身近に備えてください。



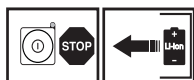
バッテリーとバッテリー充電器

本セクションには、バッテリー製品に関するバッテリーおよびバッテリー充電器について記載されています。

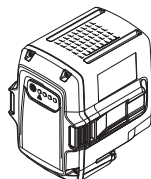
ハスクバーナ製品用のハスクバーナ純正バッテリーのみを使用して、ハスクバーナ製の純正バッテリー QC 充電器でのみ充電してください。バッテリーはソフトウェアで暗号化されています。

本機にはハスクバーナの純正 BLi バッテリーのみを使用してください。

バッテリーの安全



ハスクバーナ充電バッテリー BLi は、ハスクバーナ製の関連コードレス機器専用電源としてのみ使用できます。傷害事故を避けるために、バッテリーは他の機器には決して使用しないでください。



警告! バッテリーは直射日光や熱、焚き火から保護してください。火の中にバッテリーを入れると、爆発する恐れがあります。熱や化学薬品によるやけどの危険性があります。



警告! バッテリーの酸に肌が一切触れないようにしてください。バッテリーの酸で肌が炎症を起こしたり、やけどや腐食による負傷の原因となることがあります。目に酸が入った場合、目をこすらずに大量の水で 15 分以上洗浄し、医師の診察を受けてください。誤って酸が肌に触れた場合、肌を十分な量の水と石鹸で洗浄する必要があります。

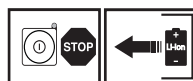


警告! バッテリーの端子を鍵や硬貨、ネジや他の金属に接続しないでください。バッテリーがショートする恐れがあります。バッテリーの通気口に物を入れないでください。

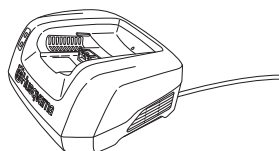
未使用のバッテリーは、くぎや硬貨、装身具などの金属に近づけないでください。バッテリーを分解したり粉砕しないでください。

- バッテリーは、温度 -10 °C ~ 40 °C の環境で使用してください。
- 電子レンジや高压にバッテリーをさらさないでください。
- バッテリーまたはバッテリー充電器を水分を含んだ布で拭いたり、水で洗浄したりしないでください。詳細は、「メンテナンス」も参照してください。
- バッテリーは子供の手の届かない場所に保管してください。
- バッテリーは雨から保護して濡れない状態に維持してください。

バッテリー充電器の安全性



ハスクバーナの交換バッテリー BLi の充電には、充電器 Husqvarna QC のみを使用してください。



安全な使用について



警告! 次の内容を実施することで、感電または短絡の危険性を最小限に抑えてください。

充電器の冷却スロットには、いかなる物も挿入しないでください。

バッテリー充電器を分解しないでください。

バッテリー充電器が短絡するため、充電器の端子を金属物体へ接触させないでください。

認証を受けていて、損傷のない壁コンセントを使用してください。

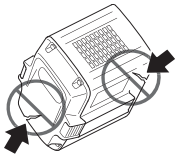


警告! 腐食性または可燃性物質の近くでバッテリー充電器を使用しないでください。バッテリー充電器にカバーをかけないでください。煙や火災が発生した場合、バッテリー充電器の電源プラグをコンセントから引き抜いてください。火災発生の危険があることを忘れないでください。

- バッテリー充電器の接続線に損傷や割れ目がないか定期的に検査してください。
- コードを持ってバッテリー充電器を運ばないでください。また、コードを引っ張ってプラグを抜かないでください。
- すべてのケーブルと延長コードが、水や油、または尖った物に接触しないようにしてください。ドア、フェンスその他にコードが挟まらないようにしてください。充電器への漏電を引き起こす可能性があります。定期的に延長コードを調べ、破損している場合は交換してください。

以下を遵守すること:

- 故障または破損したバッテリー充電器、あるいは破損したり変形したバッテリーは使用しない。



充電してはならない状況または環境:

- バッテリー充電器または本機で充電不可能なバッテリーを充電もしくは使用しない。
- 屋外ではバッテリー充電器でバッテリーを充電しない。
- 降雨時または湿潤な環境でバッテリーを充電しない。
- 直射日光の中でバッテリーを充電しない。

5°C～40°C の温度環境でのみバッテリーチャージャーを使用してください。換気が良く、乾燥して塵埃のない環境でチャージャーを使用してください。

本機の安全装置

この項目では、ブロワーの安全装置について説明しており、その目的、ブロワーの正確な動作を確保するための検査と

メンテナンスの方法を記載しています。安全装置の配置については「各部名称」を参照してください。

本機のメンテナンスを適切に行わなかったり、整備・修理を専門技術者に依頼しなかったりすると機械の寿命や使用時間を縮め、事故発生の危険性が高まります。詳しくは、お近くのサービスショップにお問い合わせください。

重要事項!

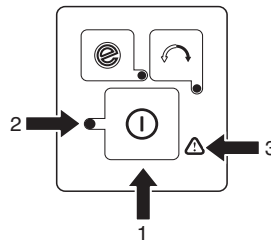
本機に関するすべてのサービス、修理には、特別な研修が必須です。本機の安全装置には、特にこのことが該当します。本機が下記の検査のいずれかに不合格であったときは、サービス代理店に連絡してください。弊社の製品を購入された場合、専門的な修理とサービスの提供が保証されています。本機を販売した小売店がサービス代理店ではない場合、最寄りのサービス代理店の住所を小売店にお尋ねください。



警告! 安全装置に欠陥のある機械は決して使用しないでください。本項目の記載に従って、本機の安全装置の点検、メンテナンスを行ってください。お持ちの機械がこれらの点検項目を一点でも満たさない場合は、お近くのサービス代理店に修理を依頼してください。

コントロールパネル

オン/オフボタン (1) を押し続けるとき (1 秒以上) に、本機のスイッチがオンまたはオフになっていることを確認します。緑の LED (2) が点灯または消灯します。



警告インジケータ (3) が点滅して緑の LED (2) が点灯している、以下のこと示します。

- パワーを最大限にした状態では本機を作動させることができません。パワートリガーを開放すると、本機は作動状態になります。
- 本機の動作がブロックされています。本機をオフにしてください。本機からバッテリーを外します。トリマーヘッドやグラスブレードの周りがあるガラスや他のものを取り除きます。
- 過剰なトリミングによって、本機が過負荷になっています。パワートリガーを開放すると、本機は作動状態になります。

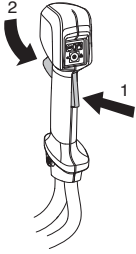
警告マーク (3) が点滅する場合、本機が高温のためにオフになっていることを示します。本機が通常の温度に戻れば、再び稼動の準備ができて本機を作動させることができます。

赤の警告灯 (3) はサービスを示します。

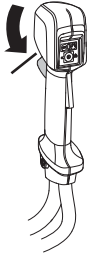
安全な使用について

パワートリガーロック

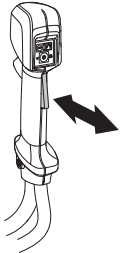
パワートリガーのロックは、パワートリガーの操作ミスを防ぐためのものです。ロック (1) を押さえる (ハンドルを握る) とパワートリガー (2) が開放されます。ハンドルから手を放すと、パワートリガーとパワートリガーロックアウトはともに元の位置に戻ります。この動作は、2 つの独立したリターンズプリングが制御しています。



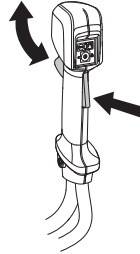
パワートリガーのロックが元の位置にあるときに、パワートリガーがロックされていることを確認します。



パワートリガーを押し、指を放すと元の位置に戻ることを確認します。

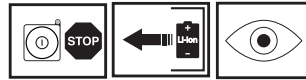


パワートリガーとパワートリガーのロックがスムーズに動き、リターンズプリングが正しく機能していることを点検します。

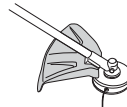


「始動」の項を参照してください。本機を始動し、フルパワーにします。パワートリガーを放すと、カッティングアタッチメントが停止してそのままの状態になることを確認します。

カッティングアタッチメントガード



このガードは、固定されていないものが作業者に向かって飛んでくるのを防ぐためのものです。また、このガードはカッティングアタッチメントが作業者に誤って当たるのを防ぎます。



ガードが損傷しておらず、ひび割れが無いことをチェックします。衝撃を何度も受けていたり、ひびが入っている場合は、ガードを交換します。

使用するカッティングアタッチメントに推奨のガードを必ず使用してください。「主要諸元」の章を参照してください。



警告! 認可されたガードのないカッティングアタッチメントは絶対に使用しないでください。「主要諸元」の章を参照してください。間違ったガードや故障したガードを取り付けると、重傷事故の原因となる恐れがあります。



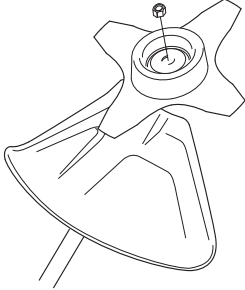
警告! 本機は低振動荷重が特徴です。循環器系に障害のある人が振動を長期間受け続けると、循環器障害や神経障害を起こすことがあります。過度の振動を受け続けたために症状が現れた場合は、医師の診断を受けてください。症状にはしびれ、感覚まひ、うずき、ちくちくする痛み、刺すような痛み、力が入らない、皮膚の色や状態の変化などがあります。これらの症状は通常、指や手の甲、手首に現れます。

安全な使用について

ロックナット

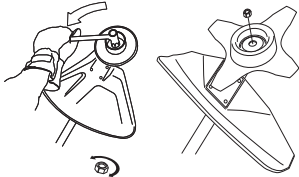


ロックナットは、いくつかのタイプのチェーンを固定するために使用します。



取り付けるときは、ナットをチェーンの回転の方向の反対方向へ締め込みます。ナットを取りはずすには、ナットをチェーンが回転する方向と同じ方向へ戻します。(注意! ナットは左ネジです。) Lキーでブレードシャフトをロックします。

ソーブレードナットを緩めたり、締め込んだりするとき、ソーブレードの歯による負傷の危険性があります。したがって、これを行うときは、手がブレードガードによって防護されていることを必ず確認してください。これを可能にするのに十分な長さがあるシャフトを備えたソケットスパナを必ず使用してください。図内の矢印は、ナットを緩めたり締め込んだりするときソケットスパナを操作する必要があるエリアを示しています。



ロックナットの内側のナイロン裏地は、ロックナットを手で回すことができるほど摩擦してはいけません。裏地は、1.5 Nm 以上の抵抗を実現する必要があります。ナットは、約10回装着したら、交換する必要があります。

カッティング装置



この章では、下記の点を達成するためのカッティング装置の選び方、手入れの方法について説明しています。

- ブレードスラストの危険性を低減する。
- 最大限の鋸断性能を引き出す。

- カッティング装置の耐用年数を延ばす。

重要事項!

当社推奨のガードが付いたカッティング装置のみを使用してください。「主要諸元」の章を参照してください。

コードを装着する正しい方法や適切なコードの直径については、カッティングアタッチメントの説明を参照してください。

ブレードの歯は、正しく目立てが行われた状態に保ってください。当社の推奨事項に従ってください。ブレードのパッケージについての説明も参照してください。

ブレードは、スロットルが元の位置に戻ったら、完全に静止状態になっている必要があります。



警告! カッティング装置のどの部分を取り扱う場合でも、必ず先にバッテリーを外してください。パワートリガーを解放した後も、回転し続けます。いかなる作業を始める前でも、カッティングアタッチメントが完全に停止したことを確認し、バッテリーを外してください。

正しくないチェーンや、目立てが正しく行われていないブレードは、ブレードスラストの危険性を高めます。

常に保護手袋を着用してください。

きめの粗い草のカッティングには、グラスブレードや草刈りナイフを想定しています。



草のトリミングには、トリマーヘッドを想定しています。



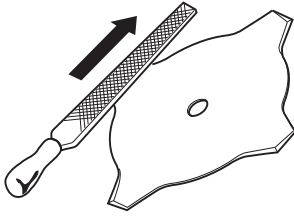
一般的な注意事項

当社推奨のガードが付いたカッティング装置のみを使用してください。「主要諸元」の章を参照してください。

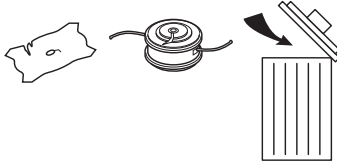
カッティングエッジは、適切に目立てが行われた状態に保ってください。指示に従い、指定の目立て機をご使用ください。損傷があるブレードや目立ての悪いブレードは、事故、障害、およびスラストの危険性を高めます。

ブレードの歯は、正しく目立てが行われた状態に保ってください。指示に従い、指定の目立てゲージをご使用ください。目立てが正しく行われていないブレードや損傷があるブレードは、事故の危険性を高めます。

安全な使用について



チェーンに損傷やひび割れがないかどうかを確認してください。損傷があるチェーンは必ず交換してください。



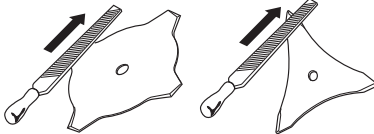
警告！ 正しくないチェーンや、目立てが正しく行われていないブレードは、ブレードスラストの危険性を高めます。



警告！ 曲がっていたり、ひび割れがあったり、破損していたり、何らかの損傷があったりするブレードは、必ず廃棄してください。ひずみの生じたブレードを、再利用できるようにまっすぐにすることは絶対にしないでください。指定されたタイプの純正のブレードのみを使用してください。

草刈りナイフとグラスブレードの目立て

- 正しい目立ての指示については、チェーンのパッケージを参照してください。
- ブレードのバランスを維持するために、すべての刃に対して同じように目立てを行ってください。



トリマーヘッド



警告！ 推奨のトリマーコードを必ず使用してください。主要諸元を参照してください。この指示に従わない場合、人的障害の原因となることがあります。

重要事項！

トリマーのコードがドラムにしっかり均等に巻き取られていることを常に確認します。そうでなければ、本機から有害な振動が発生します。

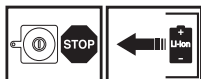
- 推奨されたトリマーヘッドとトリマー用ラインのみを使用してください。これらはメーカーがテスト済みの、特定のモーターサイズに合ったものです。完全自動のトリマーヘッドを使用する場合、これは特に重要です。推奨のカットングアタッチメントのみを使用してください。「主要諸元」の章を参照してください。



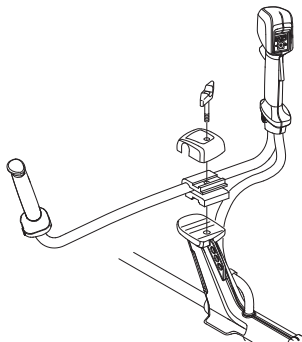
- 一般的に小型の本機では、より小さいトリマーヘッドが必要で、大型の本機ではその反対になります。これは、コードを使用して作業するとき、エンジンがコードをトリマーヘッドから放射状に出し、刈る芝生の抵抗に耐える必要があるためです。
- コードの長さも重要です。コードが長い場合、同じ直径の短いコードを使用する場合よりもエンジンの馬力が大きくならないけません。
- トリマーガードのカッターが破損していないか確認してください。これはコードを正しい長さに切るために使用します。
- コードの寿命を長くするには、使用する前に水に2～3日浸します。こうすることで、コードが丈夫になって長持ちします。
- ラインの長さが異なると、不要な振動が発生します。トリマーヘッドを開いて、ラインの長さが正しくなるようにします。

組み立て

ハンドルバーの取り付け



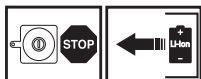
- 図に示すように、ハンドルバーを配置します。取り付け部品を取り付け、ノブを軽く締め込みます。



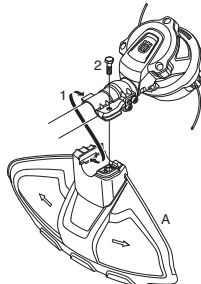
- ハーネスを装着し、サポートフックから本機が垂れるようにします。本機がハーネスから垂れているときに快適に作業できる位置になるように、最終調整を行います。
- ノブを締め込みます。



ガードの組み立て



- トリマーヘッドに使用する適切なトリマーガード(A)を取り付けます。



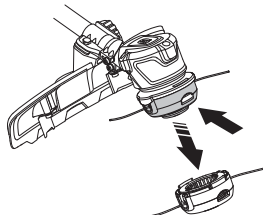
- トリマーガードを銘板ホルダ(1)のフックに掛けます。
- ガードをシャフトの周りに曲げ、ボルト(2)でシャフトの反対側に締め込みます。

トリマーヘッドの取り外し

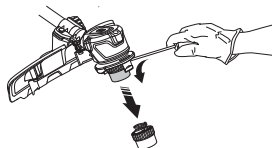


トリマーヘッドが損傷しておらず、ひび割れが無いことをチェックします。必要があればトリマーヘッドを交換してください。

トリマーヘッドのスナップ式クリップを押し、トリマーヘッドとコードを取りはずします。

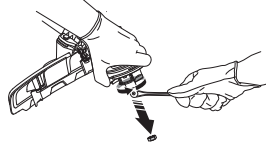


ライン送り口のアセンブリを引き出します。



組み立て

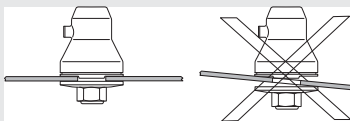
トリマーヘッドとドライブディスクを固定しているナットを取りはずします。



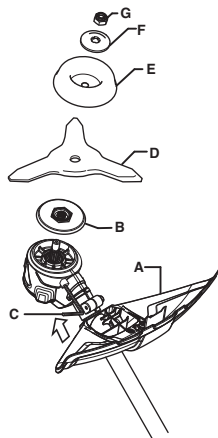
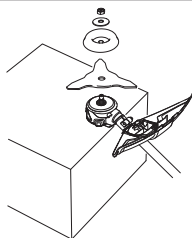
グラスブレードまたはグラスカッターのアセンブリ



警告! チェンを取り付けるとき、ドライブディスク／サポートフランジ上の持ち上がった部分がチェンのセンター穴に正しく引っ掛かることが重要です。チェンが正しく取り付けられていない場合、重傷や致命傷につながる可能性があります。



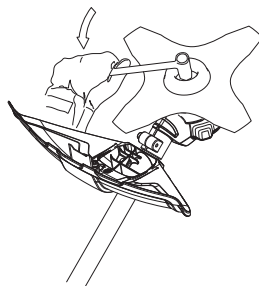
警告! 認可されたガードのないカッティングアタッチメントは絶対に使用しないでください。「主要諸元」の章を参照してください。間違ったガードや故障したガードを取り付けると、重傷事故の原因となる恐れがあります。



注意!

推奨のブレードガードを使用してください。

- 出力シャフトにドライブディスク (B) を取り付けます。
- ドライブディスクの穴のいずれかがギアハウジングの対応する穴と合うまで、出力シャフトを回します。
- Lキー (C) を穴に挿入して、シャフトをロックします。
- 出力シャフトにブレード (D)、サポートカップ (E)、およびサポートフランジ (F) を配置します。
- ナット (G) を取り付けます。ナットを 35～50 Nm (3.5～5 kpm) のトルクまで締め込みます。ツールキットのソケットスパナを使用してください。トリマーガードの可能な限り近くまで、レンチのハンドルを握ります。



ハーネスと刈払機の調整

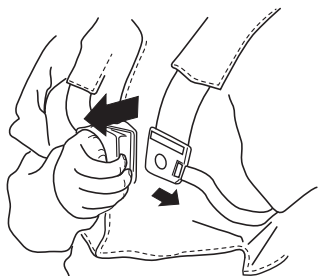


警告! 刈払機を使用するときは、必ずハーネスにしっかりと引っ掛けてください。そうしないと、刈払機を安全に操作できなくなり、使用者やその他の人が負傷するおそれがあります。欠陥のあるクイックリリースを備えたハーネスは絶対に使用しないでください。

標準のハーネス

クイックリリース

前には、簡単にアクセスできる、クイックリリースがあります。エンジンが発火した場合や、本機とハーネスから離れる必要があるその他の緊急事態の場合は、これを使用してください。



肩で負荷を拡散させる

ハーネスと本機を上手に調整すると、作業がずっと楽になります。ハーネスを、快適に作業できる位置になるように調整します。両肩に均等に重みがかかるようにサイドストラップを張ります。



正しい高さ

本機は、カッティング装置が地面に平行になるようにハーネスで支える必要があります。

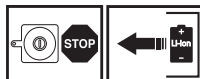


正しいバランス

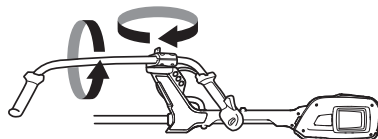
トリマーヘッドのバランスは、快適な刈高、つまり、地面近くで取ります。



搬送位置、ハンドルバー



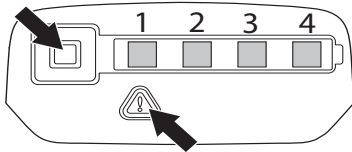
- ハンドルバーは、より簡単に搬送と保管ができるように、簡単に回してシャフトに沿って取り付けることができます。
- ノブを緩めます。ハンドルを時計方向へ回して、スロットルハンドルがバッテリーに触れるようにします。
- ハンドルバーをシャフトに巻き付けます。ノブを締め込みます。



バッテリーの取り扱い

バッテリーの状態

ディスプレイには、バッテリー容量やバッテリーに関する問題が表示されます。バッテリー容量は、製品の電源がオフになった後あるいはバッテリーインジケータボタンが押された後に5秒間表示されます。エラーが発生すると、バッテリー上で警告マークが点灯します。エラーコードをご覧ください。



LED ランプ	バッテリーの状態
すべてのLED が点灯	フルに充電(75-100%)。
LED 1、LED 2、LED 3 が点灯	バッテリーは 50%-75% 充電済み。
LED 1、LED 2 が点灯	バッテリーは 25%-50% 充電済み。
LED 1 が点灯	バッテリーは 0%-25% 充電済み。
LED 1 が点滅	バッテリーは空です。バッテリーを充電してください。

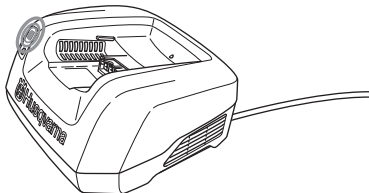
バッテリー充電器



警告! 感電または短絡の危険性があります。
認証を受けていて、損傷のない壁コンセントを使用してください。ケーブルに損傷がないことを確認してください。損傷を受けていることが視認された場合、ケーブルを必ず交換してください。

バッテリー充電器の接続

- 定格プレートで指定されている電圧と周波数を持つ電源にバッテリー充電器を接続してください。電源プラグを接地された壁コンセントに差し込みます。バッテリー充電器のLED が一度緑色に点滅します。



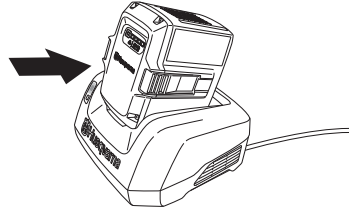
- バッテリー温度が 50 °C を超えると、バッテリーは充電されません。その場合、バッテリーチャージャーは積極的にバッテリーを冷却します。

バッテリーとバッテリー充電器の接続

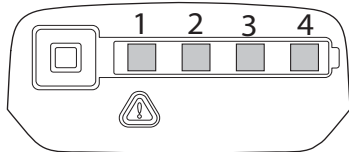
バッテリー充電器とバッテリーに損傷がないことを定期的に検査してください。詳細は、「メンテナンス」も参照してください。

バッテリーは最初に使用する前に、充電しなければなりません。バッテリーは納入時、30% だけ充電されています。

- バッテリーをバッテリー充電器に組み込みます。バッテリーがバッテリー充電器に接続されていることを確認してください。



- バッテリーがバッテリー充電器に接続されていれば、バッテリー充電器で緑色の充電ランプが点灯します。
- バッテリーのLED がすべて点灯したら、フルに充電されています。



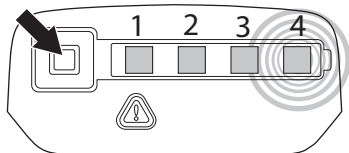
- 電源プラグを引き抜きます。壁コンセントから引く抜く際、電源コードを絶対に引っ張らないでください。
- バッテリー充電器からバッテリーを外します。

バックパックバッテリーを充電する手順は、それぞれの取扱説明書を参照してください。

充電の状態

リチウムイオンバッテリーは、充電レベルに関係なく充電可能です。充電は、バッテリーの充電レベルに関係なくキャンセルまたは開始することができます。バッテリーは破損しません。フルに充電されたバッテリーは、充電器に入れたままにしても電力が失われることはありません。

バッテリーの温度が 50 °C を超えた場合、バッテリーは充電されません。



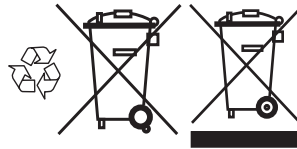
バッテリーの取り扱い

LED 表示	充電の状態
LED 1 が点滅	バッテリーは 0%-25% 充電済み。
LED 1 が点灯、LED 2 が点滅	バッテリーは 25%-50% 充電済み。
LED 1、LED 2 が点灯、LED 3 が点滅	バッテリーは 50%-75% 充電済み。
LED 1、LED 2、LED 3 が点灯、LED 4 が点滅	バッテリーは 75%-100% 充電済み。
LED 1、LED 2、LED 3、LED 4 が点灯	バッテリーの LED がすべて点灯したら、フルに充電されています。

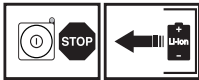
バッテリー、バッテリー充電器および製品の廃棄

製品やパッケージ上のマークは、本製品が家庭ゴミとして取り扱われてはならないことを示します。電気・電子機器の再利用を行うため、適切なリサイクル営業所に引き渡す必要があります。

以上を遵守することで、本製品は正しく処理され、本製品を不適切に廃棄した場合に環境や人に与えられる悪影響を防止することができます。本製品のリサイクルについての詳細は、あなたの所在する地区の地方自治体、廃棄物処理サービス、本製品を購入した代理店に連絡してください。



搬送と保管



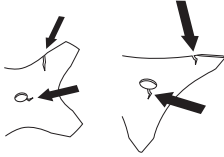
- 同梱のリチウムイオンバッテリーは危険物の規制に関する規則の対象となります。
- 民間の運送業者による商用輸送においては、梱包およびラベル付けに関する特別な要件を遵守する必要があります。
- 出荷品目の準備においては、危険物処理の専門家によるコンサルティングが必要です。また、国によってはより厳密な、各国の規制事項を遵守してください。
- テープなどで覆って直接の接触を避け、バッテリーが梱包内で動かないように梱包してください。
- 搬送の間、機器をしっかりと固定してください。
- 保管するときや搬送時は常にバッテリーを外してください。
- バッテリーおよびバッテリー充電器は、湿気や結露のない乾燥した場所に保管してください。
- 事故防止のため、保管時はバッテリーが接続されていないことを確認してください。
- 静電気が発生するような場所にはバッテリーを保管しないでください。バッテリーは金属製の箱に保管しないでください。
- バッテリーは、5 °C ~ 25 °C の温度環境に保管し、直射日光にさらさないでください。
- バッテリー充電器は、5 °C ~ 45 °C の温度環境に保管し、直射日光にさらさないでください。
- 長期保管の前に、バッテリーが 30 % ~ 50 % 充電されていることを確認してください。
- バッテリー充電器は密閉かつ乾燥した場所へ保管してください。
- バッテリーとバッテリー充電器は、必ず別に保管してください。装置を鍵のかかる場所に保管し、子供や、承認を受けていない人が触れることのないようにします。
- 長期間保管する際は、必ず事前に本機を清掃し、入念なサービスを行ってください。
- 保管する場合や搬送する場合は、必ずカバーを使用してください。

始動と停止

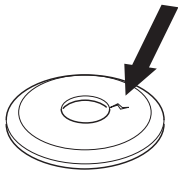
始動前の点検



- 汚れやヒビがないかモーターを点検します。ブラシを使用してエンジンから草や葉を落とします。必要に応じて、手袋を着用してください。
- トリマーヘッドが完全にトリマーに装着されているか確認します。
- 本機が正常に動作することを確認してください。すべてのナットとネジが確実に締められているかどうかを確認します。
- ブレードを確認して、歯の底部やセンター穴のそばにひび割れがないことを確認します。ひび割れができる最も一般的な理由は、目立てを行っているときに歯の底部に鋭角部ができたことや、刃先が鈍った状態でブレードを使用したことが挙げられます。ひび割れが見つかった場合は、ブレードを破棄してください。



- サポートフランジに疲労や締め込みすぎによるひび割れがないことを確認します。サポートフランジにひび割れがあった場合は、サポートフランジを破棄してください。



- ロックナットの保持力が失われていないことを確認します。ナットのロックには、1.5 Nm 以上のロック力が必要です。ロックナットの締め込みトルクは、35～50 Nm である必要があります。



- ブレードガードに損傷もひび割れもないことを確認します。ブレードガードは、衝撃にさらされたり、ひび割れがあった場合は交換してください。
- トリマーヘッドとトリマーガードに損傷やひびのないことを確認します。トリマーヘッドやトリマーガードが衝撃を受けたり、ひびが入っている場合は交換します。

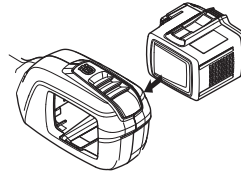


- ガードの付いてない本機あるいは破損したガードが付いている本機は、絶対に使用しないでください。
- 本機を始動する前に、すべてのカバーに破損がなく、正しく取り付けられている必要があります。
- 機械の意図された目的でのみ、本機を使用してください。

本機へのバッテリーの接続

必ず完全に充電されたバッテリーを使用してください。本機にはハスクバーナの純正バッテリーのみを使用してください。主要諸元を参照してください。

- 本機にバッテリーを取り付けます。バッテリーは、本機のバッテリーホルダーに簡単に入ります。バッテリーが簡単に入らない場合、正しく挿入されていません。カチッという音が聞こえたら、バッテリーはロックされます。バッテリーが本機に正しく取り付けられているか確認してください。



始動と停止

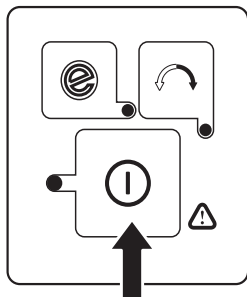
始動と停止



警告！作業エリアに許可なく人が立ち入らないようにしてください。重傷事故の恐れがあります。安全距離は15メートルです。

始動

本機をオンにします。緑のLEDが点灯するまで、電源オンボタンを押し続けます(1秒以上)。



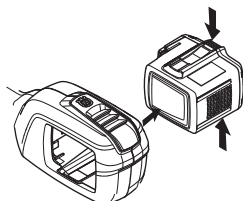
パワートリガーを使用して、速度を制御します。

重要事項！使用中のチェンは、本機をオンにし、スロットルを押したときに特定されます。チェンをトリマーヘッドなどからグラスブレードに変更すると、スロットルが解除されて元の位置になるまで本機が停止し、LEDランプが点滅します。これでチェンが特定されたので、本機を使用する準備は完了です。

停止

スロットルとスロットルロックを解除して本機をオフにすると、本機が停止します。

2つのリリースボタンを放し、バッテリーを引き出して、本機からバッテリーを外します。



重要事項！本機が誤って始動しないように、製品を使用しない時はバッテリーを常に取り外してください。

一般的な作業方法

重要事項!

この項では、芝生用トリマーで作業する際の基本的な安全対策を説明します。

どうしてもいかならない状況になった場合は、専門家に問い合わせてください。販売店またはサービスワークショップに連絡してください。

技能的に難しいと思う操作は行わないでください。



警告! 使い方によっては深刻な傷害を発生させることがあります。安全注意事項を十分に理解してください。本機の使用方法を学んでください。



警告! 本機のメンテナンスを行う前には、必ずバッテリーを外してください。

安全に関する基本事項



身体保護具を着用してください。「使用者の身体保護具」の項の説明を参照してください。

- 1 周囲を確認してください。
 - 近くの人や動物、または他の物が本機の操作に影響しないことを確認します。
 - 人や動物などがカッティングアタッチメントや、カッティングアタッチメントによって飛んでくる固定されていない物に近づかないように注意します。
 - 注意! 事故のときに、助けを求めることができない状況で、本機を使用してはいけません。作業中は 15 メートル以内に誰も近づかないように気をつけます。
- 2 作業エリアを点検します。石や割れたガラス、くぎ、スチールワイヤー、ひもなど、飛んだりカッティングアタッチメントにからまりそうな固定されていない物をすべてどけてください。
- 3 霧や雨、強風、厳寒、雷など気象条件の悪いときや濡れていたり湿気が多かったりする場所では、本機を使用しないでください。悪天候下での作業は疲れやすい上、地面が滑りやすいなど危険です。

作業中の安全注意事項

- 刈払機で作業するときは、必ずハーネスを着用してください。そうしないと、刈払機を安全に操作できなくなり、使用者やその他の人が負傷するおそれがあります。欠陥のあるクイックリリースを備えたハーネスは絶対に使用しないでください。

- 身体の動きが自由に取れ、足場が良いことを確認してください。とっさに身をかわさなければならない場合に邪魔になる物 (木の根、岩、溝など) が周囲にあるかどうか確認してください。斜面での作業は特に注意してください。



- 無理な体勢で作業しないでください。常に、安定した足場とバランスを保つようにしてください。
- 本機は常に両手で持ってください。本機が体の右側になるように持ってください。



- 体のすべての部分を、回転するカッティングアタッチメントから離してください。カッティングアタッチメントは腰から下の位置のままにしてください。
- 本機を移動するときは停止してください。本機を別の手に渡すときは、必ずバッテリーを外してください。
- 本機を降ろすときは必ず先にオフにして、常にバッテリーを外してください。
- 異物が当たったり振動が発生した場合は、すぐに本機を停止してください。本機からバッテリーを外して、本機が破損していないか確認します。
- 異常な振動が発生した場合、ラインの長さが正しくなるように新しいラインを引き出せば振動が止まるはずですが、
- 操作が終了するごとにパワートリガーを解放して、バッテリーを長持ちさせます。



警告! モーターの稼働中やカッティングアタッチメントが回転している際は、本機の利用者も含めて誰も切断する材料を取り除かないようにしてください。重傷事故の原因になる可能性があります。

トリマーヘッドの周囲に絡まった材料を取り除く前に、本機を停止してバッテリーを外してください。事故につながる恐れがあります。使用中に面取ギアの温度が上がリ、その後しばらく高温のままとなる場合があります。触るとやけどする恐れがあります。



警告! 飛んでくる物に気をつけてください。常に認可された視覚保護具を着用してください。カッティングアタッチメントガードの上に身を乗り出さないでください。石やごみなどが目に入って、失明や重傷となる可能性があります。

許可のない人が一定の距離以上近寄らないようにしてください。子供や動物、見物人、助手は 15 メートルの安全ゾーンに立ち入らないようにしてください。誰かが近づいたら、すぐに本機を停止してください。本機を持って向きを変えるときは、まず後ろを確認して、安全ゾーンに誰もいないように徹底してください。

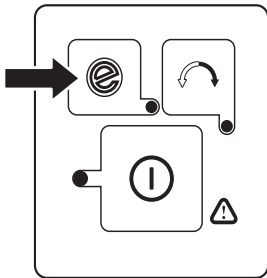
作業を終えた後の安全注意事項

- 掃除や修理、点検の前にカッティングアタッチメントが停止していることを確認してください。本機からバッテリーを外します。

SavE モード

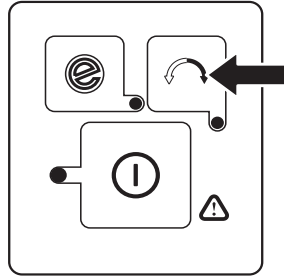
本機にはバッテリー節約機能(SavE)が備わっています。この機能をオンにするには、SavE ボタンを押します。緑の LED が点灯して、機能がオンであることが示されます。

ほとんどの場合、トリミング中は SavE モードが最適で、稼働時間が最も長くなります。操作が終了するごとにパワートリガーを解放して、バッテリーを長持ちさせます。



回転方向

トリマーヘッドの回転方向は、最高速度のときでも、停止位置にあるときでも、あらゆる位置で変更することが可能です。



トリマーヘッド

回転ボタンを押すと、緑のダイオードが点灯し、トリマーヘッドが反時計方向へ回転します。デフォルトでは、トリマーヘッドは時計方向へ回転します(緑の LED はオフになります)。

トリマーヘッドが時計方向へ回転しているとき、ナイロンコードを引き出して長くすることが簡単になります。

グラスブレード／グラスカッター

グラスブレードや草刈りナイフを使用している場合、作業用の回転は反時計方向のみです。

時計方向の回転は、トリマーヘッドまたはブレードに絡まっているカッティングする材料を緩めるために使用されます。

重要事項! ブレードで回転の方向が時計方向に変更された場合、ブレードが特定の期間をかけて減速し、再び反時計方向へ回転します。

自動停止機能

本機には、未使用時にオフになる停止機能が備わっています。緑の LED が消灯し、機械が 45 秒後にオフになります。

トリマーヘッドを使用した芝生のトリミング



警告! 枝や草がガードとカッティングアタッチメントの間にはさまることがあります。クリーニングの前に、必ずバッテリーを外してください。

作業技術

トリミング

- 地表すれすれのところで斜めになるようにトリマーヘッドを持ちます。作業を行うのはコードの末端です。コードのベースで作業してください。コードを切断するエリアに押し付けないでください。



- コードを使用すれば、壁やフェンス、木や境界に沿った芝生や雑草を簡単に取り除くことができます。ただし、敏感な木の表皮やブッシュを傷めたり、フェンスの支柱を破損する可能性もあります。
- 植物を傷める危険性を低くするには、コードの長さを10～12 cm に抑えて、エンジンの速度を落とします。

刈り払い

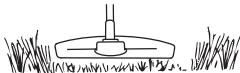
- 刈り払いのテクニックを使用して、不要な草木を取り除きます。地表すれすれのところでトリマーヘッドを持ち、少し傾けます。コードの末端が木や支柱、像などの周りの地面に当たるようにします。注意！この方法を使用すると、コードの磨耗が激しくなります。



- 石やレンガ、コンクリート、金属製フェンスに対して作業する場合は、木や木製のフェンスの場合よりもコードが早く磨耗するため、コードを多めに先送りする必要があります。
- トリミングおよび刈り払いを行う際は、トリマーヘッドの磨耗を軽減し、コードが長持ちするように、フルスロットル以下 (80 %) で使用してください。

鋸断

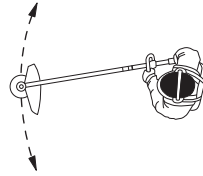
- トリマーは、通常の芝刈り機では難しい芝生をカットするのに理想的です。カットするときはコードが地面と平行になるようにしてください。トリマーヘッドを地面に押し付けないようにします。芝生が傷んで本機が破損する可能性があるためです。



- 通常のカットを行う場合は、トリマーヘッドが絶えず地面に触れないようにしてください。このように常時触れていると、トリマーヘッドが破損したり磨耗する可能性があります。

スウィーピング

- 回転するコードのファン効果を使用して、迅速かつ簡単に刈り払いを行えます。コードをスウィーピングするエリアと平行または少し上に持ち、本機を前後へ動かします。



- カットとスウィーピングを行う際、最高の結果を達成するにはフルスロットルを使用してください。

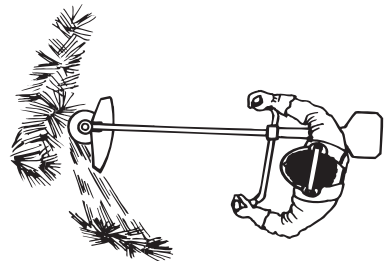
グラスブレードを使用した芝生の刈り払い



警告！ グラスブレードを取り付けた本機は、ブレードが固定物に接触すると、横へ激しくはじき飛ばされることがあります。これを、ブレードスラストと呼びます。ブレードスラストは、本機や作業者があらゆる方向へ飛び出すのに十分なほど強い力になることがあり、本機のコントロールを失う場合もあります。ブレードスラストは、本機がぶつかったり、失速したり、巻き付いたりした場合に警告なしに発生することがあります。ブレードスラストは、カッティング中の材料が見えにくいエリアで発生する可能性が高くなります。

ブレードの12時の位置と3時の位置の間のエリアでカッティングすることは避けてください。ブレードスラストは、ブレードの回転スピードが原因で、このエリアのブレードで太い幹を切ろうとした場合に発生することがあります。

- グラスブレードや草刈りナイフは、木の幹には使用してはいけません。
- グラスブレードは、すべてのタイプの丈高の草やきめの粗い草に使用します。
- 草は、横方向のスイング動作で切り落とされます。この動作では、右から左への動きが刈り払い切りであり、左から右への動きが引き切りです。ブレードの左側 (8時の位置と12時の位置の間) でカッティングしてください。

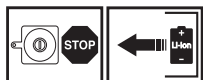


作業技術

- 草を刈り払っているときにブレードが跳ね上がった場合、草が一直線に集まります。これにより、レーキなどで収集しやすくなります。
- リズミカルに作業してください。両足を離してしっかりと立ってください。引き切りの後は前方へ移動し、再びしっかりと立ってください。
- サポートカップは地面に軽く降ろしてください。これは、ブレードが地面に当たらないように保護するために使用されます。
- 上記の指示に従うことで、ブレードの周りにさまざまな物体が巻き付く危険性が軽減します。
-必ずフルスロットルで作業してください。
- カットした材料を集める前に、エンジンを停止し、ハーネスのクリップを外し、本機を地面に置いてください。

メンテナンス

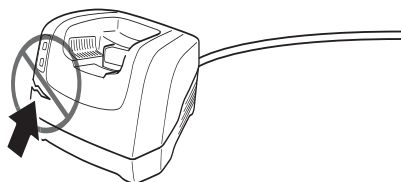
点検とメンテナンス



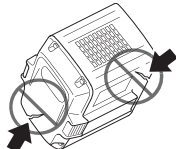
警告! 本機のメンテナンスを行う前には、必ずバッテリーを外してください。

重要事項! バッテリーまたはバッテリー充電器を水分を含んだ布で拭いたり、水で洗淨したりしないでください。強力な洗剤はプラスチックを傷めることがあります。

本機に関するすべてのサービス、修理には、特別な研修が必須です。本機の安全装置には、特にこのことが該当します。本機が下記の検査のいずれかに不合格であったときは、サービス代理店に連絡してください。弊社の製品を購入された場合、専門的な修理とサービスの提供が保証されています。本機を販売した小売店がサービス代理店ではない場合、最寄りのサービス代理店の住所を小売店にお尋ねください。純正の交換部品のみを使用してください。



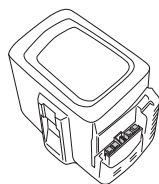
バッテリー充電器とバッテリーに損傷がないことを定期的に検査してください。



清掃

使用後は本機を掃除してください。本機のバッテリーコネクタが汚れている場合、圧縮空気を吹き付けると柔らかいブラシを使って掃除してください。

バッテリーとバッテリー充電器が清潔であること、そしてバッテリーをバッテリー充電器へ組み込む前に、バッテリーとバッテリー充電器の端子が常に清潔で乾燥していることを確認してください。

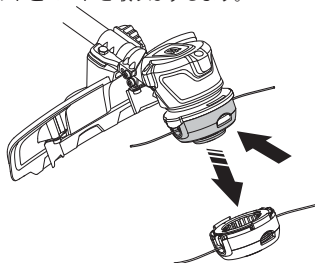


バッテリーガイドトラックは清潔さを保ってください。プラスチック部品は清潔で乾燥した布できれいにしてください。

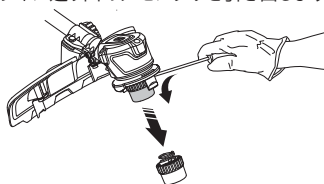
トリマーヘッド

トリマーヘッドが損傷しておらず、ひび割れが無いことをチェックします。必要があればトリマーヘッドを交換してください。

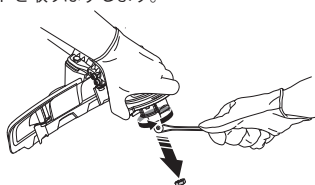
- トリマーヘッドのスナップ式クリップを押し、トリマーヘッドとコードを取りはずします。



- ライン送り口のアセンブリを引き出します。



- トリマーヘッドとドライブディスクを固定しているナットを取りはずします。



- トリマーヘッドを交換します。
- ナットと、コード送り口のアセンブリを取り付けます。
- トリマーヘッドを取り付けます。

メンテナンス

トラブルシューティング

キーパッド

トラブルシューティングはキーパッドから行います。

コントロールパネル	想定される障害	対応措置
緑色のLEDが点滅	バッテリー電圧が低い。	バッテリーの充電
	カッティングツールの特定	スロットルを解放する
エラーLEDが点滅	パワートリガーと作動ボタンが同時に押されている。	パワートリガーを開放すると、本機は作動状態になります。
	過負荷。	トリマーヘッドが引っ掛かかりました。
		本機からバッテリーを外します。トリマーヘッドを芝生から解放します。
	温度の逸脱。	本機が冷えるまで待ちます。
本機が始動しない	バッテリーコネクタが汚れている。	圧縮空気あるいは柔らかいブラシで掃除します。
エラーLEDが赤く点灯	サービス	サービス代理店に問い合わせてください。

バッテリー

充電中のバッテリーとバッテリー充電器もしくはそのいずれかに関するトラブルシューティングです。

LED表示	想定される障害	対応措置
緑色のLEDが点滅	バッテリー電圧が低い。	バッテリーを充電してください。
エラーLEDが点滅	バッテリーが消耗しています。	バッテリーを充電してください。
	温度の逸脱。	バッテリーは、温度 -10℃～40℃の環境で使用してください。
	過電圧。	本線の電圧が、本機の定格プレートに記載された電圧と一致することを確認してください。
		バッテリー充電器からバッテリーを外します。
エラーLEDが点灯	電池の電位差が大きすぎる(1V)。	サービス代理店に問い合わせてください。

バッテリー充電器

LED表示	想定される障害	対応措置
エラーLEDが点滅	温度の逸脱。	バッテリーチャージャーは、5℃～40℃の温度環境でのみ使用してください。
エラーLEDが点灯		サービス代理店に問い合わせてください。

メンテナンス

メンテナンススケジュール



警告! 本機のメンテナンスを行う前には、必ずバッテリーを外してください。

本機で実施すべきメンテナンス手順のリストは以下の通りです。ほとんどの項目は、メンテナンスのセクションで説明されています。使用者は本取扱説明書に記載されているメンテナンスとサービスだけを実施してください。本書に記載されている内容以外のメンテナンスは、必ずお近くのサービス代理店 (販売店) に依頼してください。

メンテナンス	毎日行うメンテナンス	毎週行うメンテナンス	毎月行うメンテナンス
本機の外側を清潔で乾燥した布を使用して掃除します。水は絶対に使用しないでください。	X		
ハンドル部は乾燥させて、オイルや油が付着しないようにきれいな状態を保ってください。	X		
電源オン・オフボタンが破損しておらず、正しく機能することを確認します。	X		
すべてのコントロールが破損しておらず、正常な状態であることを確認します。	X		
パワートリガーのロックとパワートリガー機能が安全面から見て正しく作動することを確認します。	X		
ガードが損傷しておらず、ひび割れが無いことをチェックします。衝撃を何度も受けていたり、ひびが入っている場合は、ガードを交換します。	X		
トリマーヘッドが損傷しておらず、ひび割れが無いことをチェックします。必要があればトリマーヘッドを交換してください。	X		
ナットおよびネジが確実に締められているかどうかを確認します。	X		
バッテリーに破損がないことを確認します。	X		
バッテリーの充電を確認します。	X		
バッテリーの解放ボタンが正常に作動し、本機にバッテリーをロックできるか確認します。	X		
バッテリー充電器に破損がなく、正常に機能することを確認します。	X		
ハーネスに損傷がないことを確認します。	X		
すべてのカップリング、接続部、コードに損傷がなく、汚れのないことを確認します。		X	
バッテリーと本機の接続、およびバッテリーとバッテリー充電器の接続をそれぞれ確認します。			X

主要諸元

主要諸元

536LiRX

モーター

モータータイプ	BLDC (ブラシレス) 36V
出力シャフト速度、rpm	5500
切削幅、mm	400

質量

バッテリーを除いた質量 (kg)	3.8
バッテリーを含む質量 (kg)	5

バッテリー稼働時間

SavEをオンにした状態のバッテリー稼働時間 (継続時間)、分	60
---------------------------------	----

騒音排出

(注記 1 を参照)	
音響パワーレベル、測定値 dB (A)	92
音響パワーレベル、 L_{WA} dB (A) により保証	96

ノイズレベル

(注記 2 を参照)	
使用者の聴覚の等価音圧レベル。EN ISO 60335-91-2 および ISO 22868, dB(A) に従って計測:	
トリマーヘッド (純正) を装着した状態、左/右	82
グラスブレードを装着した状態、左/右	

振動レベル

(注記 3 を参照)	
ハンドルの等価振動レベル ($a_{hv,eq}$) ISO 22867 に従って計測、m/s ²	
トリマーヘッド (純正) を装着した状態、左/右	1.2/0.7
グラスブレードを装着した状態、左/右	2.8/1.6

本機にはハスクバーナの純正 BLi バッテリーのみを使用してください。

指定バッテリー BLi に適合する認定充電器		
バッテリー充電器	QC120	QC330
主電源電圧、V	220-240	100-240
周波数、Hz	50/60	50/60
パワー、W	125	330

注記 1: 環境における騒音の排出は、EC 指令 2000/14/EC に従って、音響パワー (L_{WA}) として測定。保証音響と計測音響の違いは、保証音響に計測結果のばらつきと、同じモデルの異なる刈払機間の変動が含まれているためです。これは指令 2000/14/EC に則っています。

注記 2: 報告データによれば、製品の等価騒音レベルの一般的な統計上のばらつき (標準偏差) は 3 dB (A) です。

注記 3: 報告データによれば、等価振動レベルの一般的な統計上のばらつき (標準偏差) は 2 m/s² です。

主要諸元

認定済み付属品	型式	カッティングアタッチメントガード、 部品番号
ブレードシャフトのネジ M10		
トリマーヘッド	T25B (ø 2.0 mm~ø 2.4 mm Whisper ライン)	577 01 83-03
グラスブレード／グラスカッター	グラスブレード 255-4 (Ø 255 4 歯)	577 01 83-03
グラスブレード／グラスカッター	グラスブレード 255-3 (Ø 255 3 歯)	577 01 83-03
サポートカップ	固定	

EC 適合性宣言

ハスクバーナ社 (Husqvarna AB, SE-561 82 Huskvarna, Sweden、電話番号：+46-36-146500) は2016年以降のシリアル番号のバッテリー式芝生用トリマー **Husqvarna 536LiRX** (年号は銘板上にシリアル番号とともに明記) が、以下の評議会指令の規格に適合することを宣言します。

- 2006 年 5 月 17 日付「機械類に関する」**2006/42/EC**
- 2014 年 2 月 26 日付「電磁波適合性に関する」**2014/30/EU**
- 2000 年 5 月 8 日付け「環境への騒音排出に関する」**2000/14/EC**

次の標準規格にも適合しています：

IEC 60335-1:2010+A1、EN 62133:2011、EN 60335-2-29:2011、EN ISO 11806-1:2011、ISO 14982:2009

SMP Svensk Maskinprovning AB (スウェーデン機械テスト)、Box 7035、SE-750 07 ウプサラ、スウェーデンが機械指令 (2006/42/EC) の条例 12、項目 3b に基づき EC タイプコントロールテストを実施しました。

SMP Svensk Maskinprovning 社が評議会指令 2000/14/EG の付録 V への同意も確認しました。証明書の番号：**01/1610/004**

Intertek Semko AB (Box 1103、SE-164 22 Kista、スウェーデン) がハスクバーナ社のために自主承認を発表しました。

騒音排出に関する詳細は「主要諸元」の章を参照してください。

ハスクバーナ、2016 年 3 月 30 日

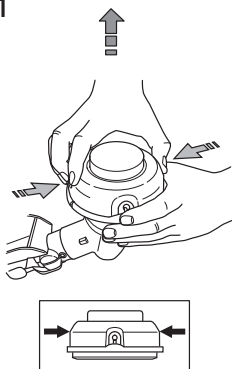


開発マネジャー Lars Roos (ハスクバーナ AB 正式代表兼技術文書担当)

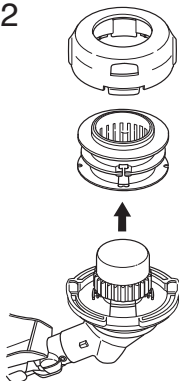
T25B



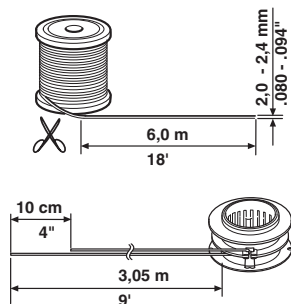
1



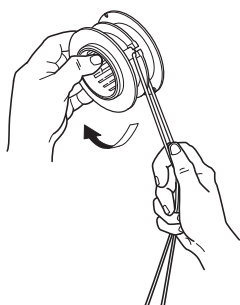
2



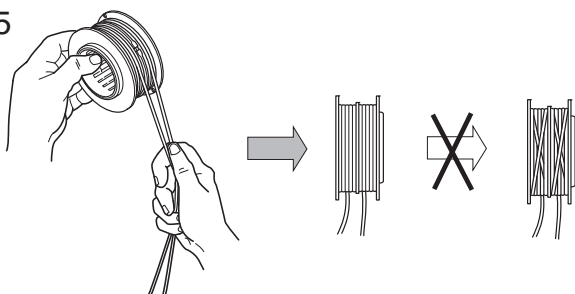
3



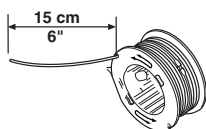
4



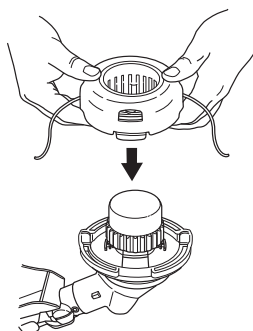
5



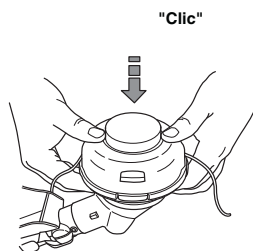
6



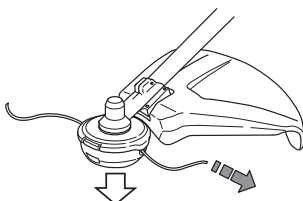
7



8



9



157276-79



2018-04-05